

「ストップ！戦争する国づくり・大軍拡 つくろう！憲法いかす政治を」――

私たちの要求実現へ、総選挙での勝利に全力をあげ、 平和大会を成功させよう

2021年9月22日 2021年日本平和大会第4回実行委員会

無責任な新型コロナ対策で市民の命を危険にさらし、くらしと人権、平和と憲法を破壊してきた菅首相が、市民の批判の高まりに追いつめられ、ついに退陣を表明しました。

追いつめられた自民党は、総裁選を通じて看板を付け替え、市民の批判をそらそうと必死になっています。しかし、総裁候補のいずれも安倍・菅政権を中枢で支えてきた人物ばかりであり、大軍拡、沖縄辺野古新基地建設推進など、日米軍事同盟強化・改憲路線推進という点では、変わりがありません。こうした人々に市民の未来を託すことはできません。いまこそ、2021年日本平和大会に向け、「ストップ！戦争する国づくり・大軍拡 つくろう！憲法いかす政治を」の運動をくりひろげ、市民と野党の共闘を発展させて総選挙で自公政権を退場に追い込み、大会を成功させるため、全力をあげましょう。

野党4党（立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組）と「安政法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は9月8日、命を守る新しい政権の実現をめざす野党共通政策に合意しました。この合意を実行するならば、憲法改悪を阻止し、憲法違反の安政法制や秘密保護法などを実質的に廃止し、核兵器禁止条約の批准をめざし、平和憲法の本質に基づく平和外交を追求する政治に転換する展望を拓くことができます。沖縄・辺野古米軍新基地建設もキッパリ中止させることができます。これらは、日本平和大会に結集する私たちが、長年にわたって求めてきた平和の要求そのものです。これを実現するため、私たちは市民と野党の共闘に積極的に参加し、政権交代めざし、全力をあげることが求められています。同時に、日米軍事同盟強化派の激しい攻撃を打ち破ってこの要求を実現するためにも、日米軍事同盟廃棄を求める市民運動と政治勢力の力を強めることが求められています。

2021年日本平和大会は、「ストップ！戦争する国づくり・大軍拡 つくろう！憲法いかす政治を」をメインテーマに、総選挙結果を踏まえ、新しい平和運動の展望を切り拓く大会として準備をすすめています。立憲野党や「オール沖縄」の国会議員、基地建設や米軍機の低空飛行に反対し日米地位協定改定を求める自治体首長との共同も重視します。大会では、全国各地の基地強化や戦争態勢づくりに反対する草の根の運動を交流し、来年1月の名護市長選挙での「オール沖縄」の岸本洋平候補の勝利めざす特別企画も準備します。さらに、英、グアム、米、韓、比の市民運動の代表が参加し、米軍基地も軍事同盟もない非核平和のアジアと世界をめざす国際連帯を深めます。在日ミャンマー人民民主活動家からの訴えも行われます。

平和大会学習パンフレットを使って、自公政権のすすめる日米軍事同盟強化の危険性を告発し、その転換を求める世論を広げ、総選挙での市民と野党の共闘の勝利のため全力をあげましょう。沖縄新基地建設反対に連帯する活動をはじめ、基地・軍事演習・戦争する国づくりの動きに反対する運動を広げ、各地で総選挙の争点に押し上げましょう。いまから、平和大会視聴会を各地各分野で積極的に組織し、参加者の輪を大きく広げ、新たな平和運動の出発点となる大会として成功させましょう。